

知の森 区立図書館へ ようこそ



特長① 図書91万冊・児童書28万冊・視聴覚資料15万点を所蔵しています!
新刊図書は毎週約500冊、CDは毎月約400点購入しています。
また、レコードは日本屈指の品揃えです。

特長② あなたの「調べる」をお手伝いします!
本はもちろん、新聞、地図、電話帳、データ
ベースなどを取り揃えています。お気軽にご
利用ください。

**特長③ 区内のどこからでも、
1 km以内に図書館があります!**



暮らしの中に図書館を!

貸出点数は、
図書・雑誌 30冊まで
CD・レコード 10点まで
DVD・ビデオ 2点まで
すべて、無料です。
※区民(在勤・在学含む)の点数です。

予約点数は、
図書・雑誌 20冊まで
CD・レコード 5点まで
DVD・ビデオ 2点まで
インターネットから予約することもできます。

開館時間は、
平日・土曜は午前9時～午後9時
(千石図書館は午後8時まで)
日曜・祝日・12月29日は午前9時～午後7時
真砂中央図書館 ☎(3815)6801

特長④ 暮らしを豊かにするイベントを開催しています! 昨年度は980回実施しました。
読書を楽しむ、知識を豊かにする催し(講演会・講座・読書会・ビブリオバトルなど)
文化に触れる催し(映画・コンサート・落語・講談・浪曲など)
お子さんと保護者のための催し(人形劇・おはなし会など)



- | | | |
|---|--|---|
| <p>1 特集
知の森
区立図書館へ
ようこそ</p> <p>2 大塚児童館へようこそ</p> | <p>2 第9回中学生「東京駅伝」大会報告
職場体験学習を行っています</p> <p>3 文京区指定有形民俗文化財に2点追加指定
をしました
歯と口の健康づくり2018を開催します</p> | <p>3 教育センターへ行こう!
学校給食おすすめレシピ
「玉ねぎとじゃこのきんぴら」</p> <p>4 区立小・中学校、幼稚園を紹介します
編集後記</p> |
|---|--|---|

大塚児童館へようこそ

住所 大塚6-22-19 開設 昭和43年5月1日
☎(3943)1632



区立児童館を
紹介します



このコーナーでは、区立児童館を紹介
します。第1回目は大塚児童館です。

今年で開館50年

大塚児童館は、大塚保育園と併設の建物の3階にあり、目の前には子どもたちの声が響く公園、そして地元では御陵(皇族専用の墓地のこと)と呼ばれる護国寺の緑が広がる、静かな住宅街の中にあります。区立児童館16館の中でも最初に開設されたのが大塚児童館で、今年で開館50年をむかえます。「子どもの頃によく遊んでいました」という、保護者の方に出会うことも珍しくありません。

乳幼児親子の集いの場

午前中は、主に乳幼児の親子の利用が盛んです。10時の開館時間から、ホールではたくさんの乳幼児向けの遊具で自由に遊ぶことができます。

月・火・水曜はだれでも参加できる「わくわくタイム」、木曜は2・3歳児対象の「なかよしひろば」(登録制)、金曜は0・1歳児の赤ちゃん向けの「びよびよひろば」で親子のふれあい遊びや乳幼児体操、手遊び、読み聞かせなどのプログラムを行っています。

月末の「びよびよひろば」で行っている地域の民生委員による育児相談や保護者がリフレッシュできるヨガ教室など、保護者にとっても憩い



午前中の赤ちゃんプログラム「びよびよひろば」

の場や交流の場となっています。はじめての子育てに不安いっぱい保護者の方が同じ悩みを分かち合い、子育てを楽しんでいけるよう、職員も日々のサポートを心がけています。

さまざまな遊び体験ができます

午後は、小学生以上の子どもたちがメインの時間です。広いホールや屋上では、ドッチボールや三歩あて、サッカーや野球などおもいきり体を動かして遊べます。卓球も毎日できるので、中学生はもちろん、初めて卓球に挑戦する小学校低学年の子どもたちもどんどん上手になっています。地域の方に教えてもらう卓球教室もあり、土曜は親子で卓球を楽しむこともできます。

工作室では毎日企画工作を行っています。内容は週変わりで、季節にちなんだ飾り物や作って遊べる物など、さまざまな素材に触れながら思い思いの作品を完成させています。

図書室では、ブロックやゲームで遊んだり、のんびり漫画を読んで一息つく子どもたちもいます。一輪車やコマ、まりつき、ゴムだん、ケンパなどの昔ながらの遊びも人気です。毎月実施している「チャレンジタイム」では、毎月さまざまな遊びの検定を行い、子どもたちが遊びの名人をめざしています。こうした活動も大塚児童館ならではの活動です。

児童館の活動内容は、区のホームページにも掲載しています。ぜひご覧ください。



ホールにて、コマまわし、卓球、ボール遊び

第9回中学生「東京駅伝」大会報告

第9回中学生「東京駅伝」大会が、2月4日、味の素スタジアム・都立武蔵野の森公園



特設周回コースにて開催されました。この大会は、各区市町村からそれぞれ選抜された中学校2年生による区市町村対抗駅伝競走です。

文京区は、国立、私立、公立中学校13校で編成した代表チームで参加しました。

大会に先立ち、1月23日には区民ひろばで壮行会を行いました。選手の紹介や代表生徒の言葉の後、拓殖大学陸上競技部コーチ五十嵐利治さんに体験談を通じた激励をいただきました。生徒は、総監督の話や区民の皆さんの拍手に、改めて、大会当日への思いを高めていました。

大会当日、女子は16人で39km、男子は17人で42.195kmを走破しました。スタジアムに入ってくると、選手は代表チームの仲間や保護者、

学校関係者の大きな声援を受け、全力で走り、疲労の中でもラストスパートをかけて襷をつないでいきました。

結果は、女子48位、男子39位、男子は29年度区の過去最高記録を更新し「特別賞」を受賞しました。

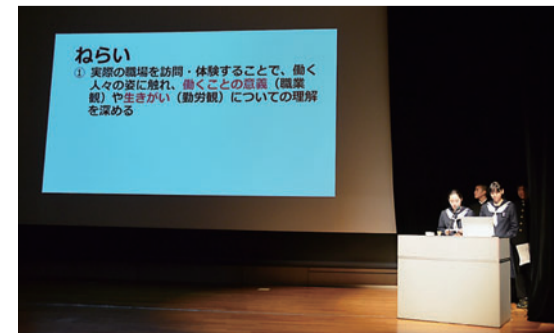
昨年11月にチームを結成してから、約3か月、歴代の駅伝選手の意志を受け継ぎ、チームとしての結束を高めながら総監督をはじめとするチームスタッフや保護者に支えられ、練習に励み、当日に臨むことができました。



教育指導課 ☎(5803)1300

職場体験学習を行っています

区では、社会の一員としての自覚をもち、社会性や職業観を育むことを目的として、区立中学校2年生の全生徒を対象に、地域の商店、地元の企業や公的施設などでの職場体験



ねらい
① 実際の職場を訪問・体験することで、働く人々の姿に触れ、働くことの意義(職業観)や生きがい(勤労観)についての理解を深める

を行っています。例年、スーパーマーケット、金融機関、保育所など、200以上の事業所にご協力いただき、を行っています。生徒にとっては、実社会を経験することにより、職場で必要とされる能力について真剣に考えるきっかけになるなど、実践的な学びの場となっています。

2月2日には、職場体験の成果を披露するとともに、受入事業者が職場体験についてプレゼンテーションする、職場体験発表会が行われました。今回は、第一中学校、第三中学校、音羽中学校からの代表生徒のグループが、プレゼンテーションソフトを使い、各学校の特色を生かした見ごたえのある発表を行いました。発表会の後半には3校から2名ずつの代表生徒による意見交換会が行われました。共催する東京本郷ロータリークラブは、



職場体験発表会の開催について区内の事業所に広報するなど、本会開催に全面的に協力いただいています。

職場体験は事業者からも、中学生を迎え入れることにより「初心を思い出すよききっかけになる」といった声が聞かれています。30年度も10月まで区立中学校が、職場体験学習を実施する予定です。

教育指導課 ☎(5803)1300



文京区指定有形民俗文化財に 2点追加指定をしました



根津神社境内に所在する胞衣塚碑は、区指定有形民俗文化財「徳川家宣胞衣塚」に関する数少ない資料です。家宣は江戸幕府第6代将軍ですが、徳川家宣胞衣塚についての資料はほとんどありません。本資料は、徳川家宣胞衣塚の由来を知ることができる重要な文化財であることから、徳川家宣胞衣塚の「付」(指定文化財の価値を補完するもの)として追加指定しました。なお、胞衣塚とは胞衣(胎児を包んでいる膜や胎盤)を納めた容器を地中に埋め、その上を塚状にしたものをいいます。

もう一つは、富士神社に伝来した富士講関係資料のうちの1つで、今回の追加指定資料は、掛軸「富士山弥陀三尊二猿」です。

富士講の祭壇では、御三幅という掛軸を掲げました。富士講員らは、富士登山の際、御三幅を背負い山頂で飾り拜みをあげていました。今回、追加指定した本資料は、既に区指定有形民俗文化財となっている富士神社が所蔵している他の2つの掛軸と合わせて御三幅の1つと判明したので、追加指定に至ったものです。この追加により、区指定有形民俗文化財「富士講関係資料」の員数は22点となりました。

胞衣塚碑は、根津神社境内にて、自由に見学していただけます。また、掛軸「富士山弥陀三尊二猿」は、普段は一般公開されていませんが、5月20日まで文京ふるさと歴史館にて、展示されておりますのでご覧ください。

教育総務課文化財保護係 ☎(5803)1305

1 追加指定した文化財

胞衣塚碑 1基
種別：区指定有形民俗文化財
追加指定日：平成30年3月1日
所有者：根津神社

2 追加指定した文化財

掛軸「富士山弥陀三尊二猿」 1点
種別：区指定有形民俗文化財
追加指定日：平成30年3月1日
所有者：富士神社

歯と口の健康づくり 2018 を 開催します

6月の「歯と口の健康週間」にあわせて、区における口腔衛生の向上を目的とし「歯と口の健康づくり2018」を開催します。当日は、歯科健診において優秀な成績を収めた学校・園の表彰や、小・中学校の児童・生徒の皆さんから募集した「よい歯の図画・ポスター」の入賞者の表彰や特別講演などを行います。皆さんふるってご来場ください。

Information 開催概要

日時 6月7日(木) 午後2時～4時30分
会場 シビックホール小ホール(シビックセンター2階)
内容 表彰・特別講演
申込 当日直接会場へお越しください。※入場無料

◆「よい歯の図画・ポスター展」を開催します◆

小・中学校の児童・生徒の皆さんから募集した「よい歯の図画・ポスター」の入選作品を展示します。入場無料ですので、皆さんぜひご覧ください。

Information 開催概要

日時 5月19日(土)～6月10日(日) 午前8時～午後10時
(5月20日(日)・23日(水)・29日(火)を除く)
会場 区民ひろば(シビックセンター地下2階)

学務課学校保健担当 ☎(5803)1956

教育センターへ行こう！

教育センターでは、区内の子どもたちの科学に対する豊かな感性を育むことを目的に、幅広いテーマの講座を実施しています。子どもたちに科学の素晴らしさを実感してもらえるよう、経験豊富な専門指導員がオリジナルの教材を用意し、丁寧な指導を行っています。また、大学の先生が最新の研究成果について話をする講座もあります。内容ごとに対象年齢は分かれており、幼児から中学生まで、幅広い年齢の子どもたちが科学に親しむことができます。5月に実施する講座は下記のとおりです。



Information 開催概要

第1回子ども科学カレッジ
「光合成を目で見る～植物工場ロボット」
日時 5月12日(土)午後2時～4時
対象 小学4年生～中学3年生
定員 50名(申込順)

※電話にて4月25日(水)から
申込受付開始。

※詳細は教育センターホームページを
ご覧ください。

Information 開催概要

第1回親子理科教室
「万華鏡をつくろう」
日時 5月19日(土)
①午前10時～11時30分
②午後2時～3時30分

①・②ともに同じ内容を実施します。
対象 小学1～3年生とその保護者
定員 30組(抽選)

※電子申請または往復はがきにて
5月7日(月)まで申込受付。

教育センター科学教育事業担当 ☎(5800)2591

学校給食おすすめレシピ

玉ねぎとじゃこのきんぴら

2月の「和食の日」に実施した献立から、じゃこたっぷりきんぴらを紹介します。身近な野菜でカルシウムも摂れる、ごはんのおかずです。



★材料(4人分)

- ・にんじん 1/2本
- ・玉ねぎ 1/2個
- ・れんこん 1/4節
- ・ちりめんじゃこ 16g
- ・いため油 小さじ2
- ・酒 小さじ2
- ・砂糖 小さじ2
- ・しょうゆ 小さじ2
- ・一味唐辛子 少々
- ・白いりごま 小さじ2

★作り方

- ①にんじんは5cmの長さの細切り、玉ねぎ、れんこんは薄切りにする。
- ②フライパンを熱して油を入れ、①を炒め、しんなりしたらじゃこを加えて炒める。
- ③調味料を加えて味を調べ、仕上げに一味唐辛子とごまを加える。

★文京区民チャンネルの「すこやかCooking」にて動画を配信しています。



学務課給食担当 ☎(5803)1299

関口台町小学校

所在地 関口2-6-1
開校 大正14年4月

ここが特徴

江戸川公園や肥後細川庭園に囲まれた緑豊かな環境に立地しています。こうした中、種から花苗を育てる「草花ボランティア」や、江戸川公園の花壇に花苗を植える「植栽活動」など自然と触れ合う体験学習を数多く実施しています。また、ユニバーサルデザインを取り入れた指導の研究にも力を入れ「視覚化」・「共有化」・「焦点化」・「個別の支援」の4つの視点で授業作りを行っています。

地域とのつながり

地域の方が講師となり授業を行うゲストティーチャーの活用や、クラブ活動の支援など、学校支援地域本部「関口サポーターズ」との連携により、教育活動を充実させています。そのほか、保護者や地域の方が中心になって週1回の読み聞かせ活動や、学年ごとの朗読劇も実施しています。

地域環境を活かした取り組み

毎年、4年生を対象に椿山荘にて蛍の学習会を実施しています。学習会では蛍の生態などの講話の後に、蛍の幼虫の放流体験を行っています。5年生では、蛍の鑑賞会を行い、自分たちが放流した蛍が成長した姿を見学しています。また、昨年秋に肥後細川庭園で行われた「ひごあかり」では、全児童が熊本地震復興応援としてイラストを描いており、そのイラストが庭園内に灯籠として展示されました。



蛍の幼虫の放流体験の様子

最後に一言

「関台っ子、伸ばす3つの力」として「自立」・「自律」・「協働」を掲げ、学校・地域・保護者が一体となって児童の成長を支えています。

小日向台町小学校

所在地 小日向2-3-8
開校 明治37年4月

ここが特徴

今年で114年を迎える歴史ある学校です。天井が高く、お洒落な階段室のあるレトロモダンな校舎は昭和10年に建設されました。校舎前にはシンボルツリーの「しいの木」があり、特別支援学級の名称にもなっています。閑静な住宅地の中、敷地内には自然園があり多くの緑に囲まれた環境で、子どもたちは穏やかに学校生活を送っています。また、隣接している小日向台町幼稚園と連携した活動も実施しています。

東京都道徳教育推進拠点校

28・29年度と東京都道徳教育推進拠点校として、研究主題を「よりよい人間関係を築く力の育成」として、「特別の教科 道徳」の実施に向けた研究発表会を行いました。子どもたちは、自分の考えを伝えたり、友達の考えを聞いたりすることを通して、自己の考えを広げ深められるよう、話し合いを重視した学習に取り組みました。

地域との連携

父親が中心となる「おやじの会」では、「小日向マーケット」や「夏のきもだめし」などのイベントやPTA活動が盛んに行われています。昨年12月に実施された避難所訓練では、多くの地域の方が参加しました。



シンボルツリーの「しいの木」

最後に一言

協力的な家庭が多く、温かい雰囲気のある地域です。これからもこの伝統を毎日の教育活動の中で、子どもたちと一緒に守り、伝え続けていきます。



区立小・中学校、幼稚園を紹介します



区立学校・幼稚園の特色を紹介するこのコーナー。今号もたくさんの魅力をお届けします。

青柳幼稚園

所在地 大塚5-40-18
開園 昭和43年5月

ここが特徴

青柳幼稚園は、大きな柳の木がある日当たりの良い丘にあり、隣接している護国寺の緑に囲まれた、安全で安心感がもてる幼稚園です。子どもたちの遊びと生活を大切にして設計された園舎は、四季折々の自然に触れることができ、園庭に実った金柑やミカンをもいで食べることもできます。

小学校との交流連携

幼稚園と小学校の交流連携が区内で最も充実しています。同じ敷地内にある青柳小学校で音楽や図工の授業を体験したり、給食を一緒に食べたりして交流しています。小学校のチャイムを聴きながら幼稚園教育を受ける子どもたちは、豊かな体験をしながら、小学生にあこがれをもち、小学校での生活に期待をもって就学していきます。

親も子どもも楽しい幼稚園

子どもはもちろん、保護者にとっても幼稚園へ送り迎えする生活は、人生でかけがえのない楽しい親子の時間です。親子で体操したり、降園後に日当たりの良い園庭で一緒に過ごしたり、時には親子でランチをしたりするなど「親も子どもも楽しい幼稚園」です。

地域の未就園児の親子が集う機会も充実し、入園する前に幼稚園生活にふれることができます。



降園後の園庭開放での園児親子と教諭の様子

最後に一言

今年で開園50周年を迎えます。園章は桜の花の中に「青幼」と打ち出され、「自然と人間愛を基盤にした」青柳小学校の校章と同じく、真の教育の具現化を目指すことを表わしています。

第八中学校

所在地 千駄木2-19-22
開校 昭和22年4月

ここが特徴

下町エリアとして知られる千駄木に位置する第八中学校は、地域とのつながりが強い学校です。小規模校の特性を生かし、1クラスを2つに分けて少人数授業を行うなど、きめ細やかな指導を行っています。



開校70周年記念式典の様子

地域とのかかわり

1年次には、地元の観光ボランティアの案内で、根津神社や夏目漱石旧居跡など、根津・千駄木地域をめぐり、地域の文化や歴史を学びます。また、森鷗外記念館の協力のもと、学校図書館に森鷗外コーナーがつけられています。ほかにも、職場訪問で伝統工芸の職人の方のもとを訪れたり、地域主催の防災訓練への参加など、地域の方々とかかわる機会が多いのが八中の魅力の一つです。

他校との連携

近隣の学校や園との交流も盛んです。近くの保育園で保育実習をする一方、近隣の根津小学校・汐見小学校の児童が部活体験に来たり、校庭を保育園や小学校に貸し出したり、地域の学校同士で支えあって教育をしています。

特に、文林中学校とは部活動での共同のほか、PTAや青少年委員と協力してゲームや模擬店を開く千駄木フェスティバルを毎年開催しています。

最後に一言

地域の方々を支えられ、地域・学校・保護者が一緒になって子どもたちを育てているのが八中の良いところです。また、生徒たちの学校での様子もホームページに掲載しているので、ぜひご覧ください。

編集後記

桜の花の便りと共に、卒業生や新入生の皆さんだけでなく、多くの人にとって、わくわくドキドキな時期が、今年もめぐってきました。

新たな門出を迎えた方はもちろん、そうでなくても、希望や夢を大きく持って、今までを振り返りつつ、日々感謝の気持ちを忘れず、毎日を大切に過ごしていきたいと思う春です。